

キャリア教育（進路）便り

「師走」となりました。平成最後の12月、1年のまとめの月ですね。

初等・中等学部の子ども達には、「この1年の自分を振り返り、新年への大きな希望や夢を抱けるような月にして欲しい。」と願っています。

さて、現在、中等学部の9年生は、自分で決めた進路に向かい、真剣に考え、一生懸命に努力しています。9年生も目標が明確になり、生徒の眼差しは、より一層、真剣さが増してきました。

9年生にとって、初めて迎える**高校入試は、「人生の試練」と**なります。友達同士、仲間同士が助け合い、励まし合い、そして本校教職員の支援も強化し、しっかりと目標を達成させたいと考えています。

勿論、初等部の児童一人一人にとっても、各学年の発達段階に応じた「生きる力（確かな学力・豊かな心・健康と体力）」を身に付けることができるよう、本人の取組と教職員による支援を推進していきたいと考えています。また、中等学部の7・8年生にとっても大切な時期でもあります。7年生は、これまでの学習面や生活面の反省をするとともに、満足したことや伸ばしたい部分を、更に伸ばし続けて欲しい、8年生には、9年生から本校のリーダーとしてのバトンをしっかりと受け止めて欲しいと思います。本校の**子ども達一人一人が、自分の夢や希望に向かって、本気で何事にも努力できるよう、**家庭と学校が一体となって支援することが大切であると考えておりますので、今まで以上のご理解ご支援をお願いいたします。

【情報】

＜スピンドルニューロン＞ → アメリカで発表：「脳内の神経細胞」のことです。

これは、人は、うれしいこと、楽しいことがあると、幸せを感じ、『やる気がでる・我慢強くなる・ストレスが解消される・前向きになる・考え方や想像力が高まる』ことです。

お子さんがうれしくなり、楽しくなって幸せを感じるためには、毎日の学習や運動、体験や家庭でのお手伝い等を通して、お子さんの心に感動や満足感、充実感、達成感等を体感させることが大切で、その時のお母さん、教師、友達や先輩の一言が大きな影響を与えるそうです。（お父さんは？）一言とは、当然、「賞賛の言葉です。」

＜読書＞ ベネッセ総合研究所「小学生の読書に関する調査」より

◎たくさん読書をしている子どもほど、学力が向上する。

◎子どもの学びの広がり、他者とのつながり等、読書効果が大きい。

＜AI・ロボットの時代＞ アメリカの大学教授が発表

「あと10年で、人の仕事の半分がロボットに奪われる。」そんな馬鹿な？と思いますが…。

実際、祖父母・両親、私の子どもの頃と、現在の子ども達や若者を取り巻く環境は、大きく変わっているとは思いませんか。「昔はこうだった」、「子どもの頃はこうだった」とか「大人の経験や体験」を語り、アドバイスをしても、「時代遅れだよ」と一笑されてしまうかもしれません。時代は、どんどんスピードをあげて進んでいきますが、**人としての心を失わない、そして、予測不能な時代を生きる子どもたちが、どんな時代を迎えようと、そこで踏ん張って、食べていける、自立していける、たくましく生きることが求められていると思います。しっかりと世の中の動向を見極め、進路判断・選択・決定できる児童生徒の育成に努力したいと、強く思うこの頃です。**